

科 目 名	重複障害教育総論【社福】					開 講 キャンパス	神 埼	
担 当 者	利 光 恵							
開 講 年 次	3	開講期	後期	単位数	1	必修・選択	選 択	
授業の概要 及びねらい	本授業では重複障害の定義、ならびにその教育内容の概要を述べ、具体的指導方法を概説する。また、情緒障害、言語障害を併せ持つ重複障害児への具体的指導についても概説を行い、多義に渡る重複障害への教育方法について説明する							
授 業 の 到 達 目 標	1. 重複障害の定義について説明が出来る。 2. 重複障害の状態に伴って、具体的指導方法を選択することができる。 3. 重複障害の事例を通して、教育現場での接し方を主体的に考えることができる。 4. 情緒障害、言語障害の両方もしくは一方を併せ持つ知的障害者について上記1～3を説明できる。 5. 重複障害者への主体性を育む教育の在り方に関心・興味を持つようになる。 6. 医療と福祉との連携の必要性を説明できる。 7. 重複障害者の僅かな変化を客観的に捉える専門的方法に関心を持つ。 8. 事例をDVD視聴し、その実態について適切に記録することができる。 9. 重複障害者の実態把握の重要性について理解できる。 10. 重複障害教育の今後の課題について指摘できる。							
学 習 方 法	講義形式を中心とし、DVD視聴による討議、小レポート提出を取り入れる。							
テキスト及 び参考書等	適宜資料を配付する。							
評 価 基 準 ・ 方 法	到 達 目 標							
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲・態度	技能・表現	評価割合%			
定期試験	◎	○		◎	50			
小テスト等								
宿題・授業外レポート	◎	◎	○	◎	30			
授業態度		○	◎		10			
受講者の発表								
授業への参加度		○	◎		10			
その他								
合 計						100		
(表中の記号 ○評価する観点 ◎評価の際に重視する観点)								
授業計画（学習内容・キーワードとスケジュール）								
第 1 週	重複障害と関連用語の定義							
第 2 週	重複障害児の指導・発達							
第 3 週	重複障害児の教育の現状（教育の場と内容）							
第 4 週	指導の基本的考え方と指導方法							
第 5 週	指導方法と指導に対する評価について							
第 6 週	情緒障害を併せ持つ重複障害への指導							
第 7 週	言語障害を併せ持つ重複障害児への指導							
第 8 週	試験							
第 9 週								
第 10 週								
第 11 週								
第 12 週								
第 13 週								
第 14 週								
第 15 週								
第 16 週								
備 考	事前事後学習については授業ごとに指示を行う。							